

## JOMF 派遣医師便り (2014. 10)

◆ジャカルタ◆

## スカルノハッタ空港

JJC 医療相談室

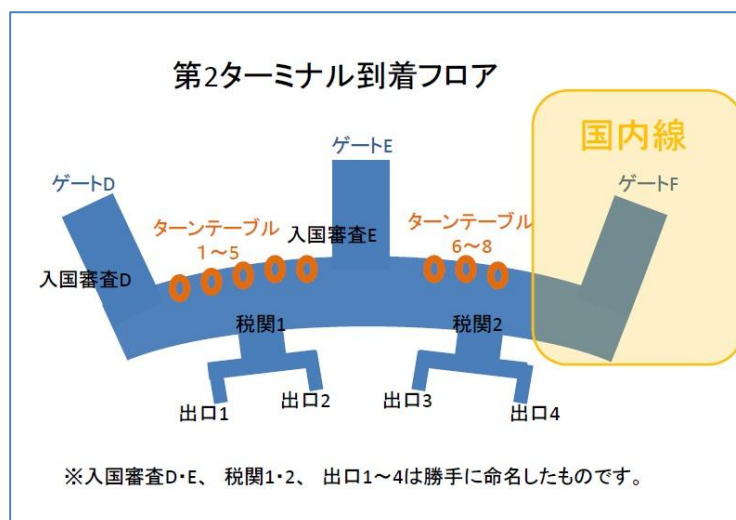
原 稔

5年前、ジャカルタ赴任時には東京ージャカルタは1日1便でした。現在、成田と羽田を合わせて毎日6便が飛んでいます。

スカルノハッタ空港にはターミナルが3つあります。日本からの直行便が発着するのは第2ターミナルです。第2ターミナルはゲートD・E・Fの3つに分かれ、その順に扇型に並んでいます。

見取り図をご参照ください。第2ターミナルの到着フロアです。

日本の航空会社は大体ゲートDに到着しますが、ゲートEに着くこともあります。ガルーダはゲートEに到着します。この時、注意が必要です。ゲートDとゲートEにはそれぞれVisa on arrivalのカウンターと入国審査があり、DとEはほぼ同じ構造をしています。そのため、自分のいる場所を認識していないと、そのあと思わぬ場所に出てあわてることとなります。迎えの人とすれ違う可能性があるのです。



ゲートD、Eからつながる入国審査場をそれぞれ「入国審査D」、「入国審査E」とします。入国審査後のターンテーブルと税関は、入国審査Dと入国審査Eの間と、入国審査EとゲートFの間(Fはガルーダの国内線専用)の2か所にあり、これらも互いに似た構造です。DとEの間の税関を「税関1」、EとFの間のものを「税関2」とします。税関1の前にはターンテーブル1~5が、税関2の前にはターンテーブル6~8があります。

税関1を出ると、右と左に分かれます。右の出口を「出口1」、左の出口を「出口2」とします。税関2の先も同様に右左に分かれるので、それぞれ「出口3」、「出口4」とします。ゲートDと出口1の位置関係と、ゲートEと出口3の位置関係は同じです。従って、ゲ

ートEに到着したのに、ゲートDのつもりで歩いて行くと、出口1に出たはずが出口3に出てしまいます。出口の番号表示はここで勝手につけたもので、現地にはそんなものはありません。どの場所に出たのかを、周りの景色で判断するのは困難です。迎えの人はどこに・・・

ゲートの表示は、入国審査を抜けたところにありますが、とても不親切です。入国審査後、左にしか行けなければそこはD、左右両方に行けるならばそこはEです。

誰かに場所を訪ねると、インドネシア語では「E」を「エー」と発音するので、パニックに陥りかねません。また、知らないのにいいかげんな返事をするのは、よくあることです。

また、税関1と税関2の間は、入国審査Eの前を通過して行き来できます。偶然が重なると、ゲートDに着いて出口1へ行くはずが出口4に出ていたなんてことも起こり得ます。

更に、荷物を預けていると別の問題があります。出てくるターンテーブルの表示がなかったり、間違っていたりします。横からはポーターが・・・

ジャカルタにお越しの際はご注意ください。